

市長所信表明



9月3日(木)、『令和2年第3回登別市議会定例会』が開かれ、小笠原市長が4期目における市政執行に対する所信を表明しました。今号では、所信表明の全文を掲載します。

本

日ここに、令和2年第3回登別市議会定例会の開会を迎えるにあたり、私の市政に取り組み基本姿勢並びに市政に関する4期目の所信の一端について申し上げ、市議会議員の皆さん並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

4期目の市政経営に当たり、改めてその職責の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。

これからの4年間は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、市民が主役の協働のまちづくりをさらに進化させ、最大限に企業や団体などのノウハウを活用することを基本としながら、次の50年を見据えた健全で持続可能な『小さくともキラリと光る成熟都市』を目指して全力で挑戦してまいります。

の考 営な 経済的 政本 基え

登別の新たなかたちを構築し、住みつけたい、住んでみたいと思える魅力あるまちへ

今後4年間の市政経営の基本的な考えを申し上げます。

今般、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民の皆さんには感染予防対策の徹底や不要不急の外出の自粛、学校の臨時休業、また、事業者の皆さんには休業要請等にご協力をいただきましたことに対しまして改めて心からお礼申し上げます。今後におきましても、新型コロナウイルス感染症の対応を最優先と考え、感染拡大の状況を見極めながら『新しい生活様式』や『北海道スタイル』を取り入れ、ウィズコロナ、アフターコロナにお

ける『登別の新たなかたち』の構築に向けて取り組んでまいります。

また、市制施行50周年という大きな節目をきっかけに、市民活動や産業活動を活性化させるとともに未来のまちづくりを大きく加速させるため、まちづくりで活躍するリーダーの育成を行い、未来へ繋げる架け橋として、これからも多くの方が登別市に住みつけたい、住んでみたいと思える魅力あるまちを目指してまいります。

次の4年間において、これから申し上げます5つの基本政策を掲げ、未来を見据えて熱い思いで力強く市政経営を進めてまいります。

1 新たな時代の豊かさの実現

基本政策の1つ目は『新たな時代の豊かさの実現』についてであります。

今後、少子高齢化や人口減少社会がますます進み、労働人口の減少や市税収入の減少、社会保障費の増大など、さまざまな影響が見込まれます。

さらに、新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式などをふまえた新たな環境や新しいスタイルを『登別の新たなかたち』として構築していくことが重要です。

そのため、情報インフラである光ファイバーをカルルス地区に整備することでカルルス温泉のさらなる振興を図るとともに、ICTの活用による新しい事業環

5つの基本政策

- 1 新たな時代の豊かさの実現
- 2 市民の心がきらりと輝くまち
- 3 かけがえのない暮らしを守り抜くまち
- 4 子どもたちや若者の笑顔がきらりと輝くまち
- 5 50年先を見通す行政の総点検

境の構築や起業・創業の促進、域内循環の向上などによる市内経済の活性化を図ってまいります。

また、登別観光の玄関口でありますJR登別駅及び駅周辺の整備については、引き続き北海道旅客鉄道株式会社と協議を行い、令和7年度を目途にエレベーターを設置し、バリアフリー化を実現するとともに、重要な交通結節点であるJR登別駅前広場の整備や令和5年度を目途に『(仮称)登別市情報発信拠点施設』の建設、本年度中に登別マリノパークニクス施設の民間への譲渡、廃止後の婦人センター敷地の活用に向けた検討を進めます。

また、登別観光の『食』の魅力をより一層向上させるため、新たな商品開発や販売戦略などを検討するとともに、1次産品の高付加価値化や地産地消をさらに